



千葉県PRマスコット  
キャラクター チーバくん  
千葉県許諾 第A3-14号

Trains and planes seen in Chiba

# ちばで見も 電車&飛行機

第10回



- 銚子電鉄
- 3000形
- 2000形



2000形 銚子電気鉄道線(海鹿島駅~君ヶ浜駅間)

# ちばで見よ 電車&飛行機



## 銚子の海をイメージした色が鮮やかな「滯つくし」カラー

3000形  
銚子電気鉄道線(海鹿島駅~君ヶ浜駅間)

### 3000形

銚子電鉄、正式名「銚子電気鉄道」は1923年に開業したとても歴史ある鉄道です。銚子駅ちかやから外川駅まで6.4km、10駅を約20分で結んでいます。

大正ロマンを感じる素敵な駅舎なども評判で、多くの観光客が訪れ、また地元民からは通称「銚電」として愛されているローカル線で、車両は他の路線で活躍したものを譲り受けています。

ここで登場している銚子電鉄3000形もそのひとつ。老朽化した1000形の置き換えを目的に2016年に導入された車両で、現在の銚子電鉄では最も新しい車両です。塗装はかつて在籍していたトロッキ車「ユ100形」を模した濃淡ブルーに白帯で、銚子の海をイメージしたデザイン。「ユ100形」は1985年に放送されたNHK連続テレビ小説「滯つくし」に登場した懐かしい列車で、そのため「滯つくし号」と名付けられています。

この車両は元々、伊予鉄道700系として活躍していたものですが、さらにその前は京王電鉄の5100系の車両だったものです。京王電鉄の5100系が登場したのは昭和30年代で、沿線の人口が急増したため、輸送力増強対策の一環として新製されました。



3000形 銚子電気鉄道線(犬吠駅~外川駅間)



3000形・2000形 銚子電気鉄道線(仲ノ町駅)



3000形  
銚子電気鉄道線(海鹿島駅~君ヶ浜駅間)



### 国内最古の電気機関車「デキ3」

デキ3型電気機関車は日本の旅客営業鉄道線の中で最も小さい機関車で全長4.4mしかありません。現存する電気機関車として国内で最も古く、大正12年ドイツ・アルゲマイネ社製で凸型のユーモラスなスタイルで鉄道ファンから人気のある車両です。

昭和16年に銚子電鉄に導入され、昭和59年に定期仕業がなくなりました。昭和16年の導入当時の姿のまま現存する数少ない自走可能な車両として、現在は仲ノ町駅にある車庫の奥に保管されています。



ツートンカラーの旧標準色のデキ3(2011年撮影)



## 誕生から半世紀以上活躍するレトロ車両

2000形 銚子電気鉄道線(犬伏駅～外川駅間)

### 2000形

2000形は銚子電鉄初の2両固定編成の車両です。先頭部が前と後ろで違うのが特徴的です。元々は京王電鉄2010系。その後、伊予鉄道へ譲渡され、20年間の長きにわたって活躍した後、2009年に銚子電鉄へ譲渡されました。製造年は1962(昭和37)年で半世紀以上活躍しているレトロな車両で、ここで第三の人生を送っています。

元々の車両であった京王電鉄の2010系はグリーンの手体が非常に印象的だった車両。伊予鉄道に譲渡されてからは別のカラーとなっていたが、銚子電鉄に譲渡された当時は再びグリーンの手体が再現され、話題となりました。現在は青色系塗装と銚子電鉄旧標準色塗装(ベージュとピンクのツートンカラー)になっています。

2018年には車両の中の1両を大正ロマン電車として改装する企画も行われました。木目調の床材、真鍮色の手すりや柵、電球色の照明、革製のつり革、大正から昭和初期に制作された広告、そしてシートは大正ロマンを感じさせるワインレッドの標準シート。車両に乗り込んで銚子の田園風景の中を走れば、そのままタイムスリップしてしまいそうな雰囲気です。

この車両に着物で乗り込んで大正時代の雰囲気を楽しむイベントが行われたり、人気アーティストのミュージックビデオの舞台にもなりました。



2000形 銚子電気鉄道線(海鹿島駅～君ヶ浜駅間)



2000形 銚子電気鉄道線(仲ノ町駅)



2000形 銚子電気鉄道線(観音駅～本銚子駅間)

### ■ 撮影ポイント

#### ● 笠上黒生駅

朝の通勤時間帯は、笠上黒生駅で上下列車の交換(行き違い)、タブレット(通票)の受け渡しが見られます。銚子側の笠上大踏切付近から撮影。



#### ● 海鹿島駅～君ヶ浜駅間

海鹿島を出て右にカーブしてきた外川行き3000形。17号踏切付近の道路から撮影。



#### ● 仲ノ町駅

仲ノ町駅の銚子側は緩やかなカーブで、道路から営業車両と留置中の編成を一緒に撮影。





## 銚子電鉄の現在も残る旧車両

銚子電鉄は1913年(大正2年)に地元有志によって設立された銚子遊覧鉄道を母体とし、第一次大戦中に廃線となった後、1923年(大正12年)に復活した地方鉄道です。

通勤・通学、観光客や、ヤマサ醤油の輸送業務を行う貨物路線としても活躍していました。

長い歴史の中で、さまざまな車両が活躍してきましたが、現在はこの誌面でも紹介した3000形、2000形、そして国内最古の電気機関車「デキ3」が稼働中です。

終点の外川駅には往年のデハ801の車両が保存され、その姿を見ることができます。デハ801は1950年(昭和25年)に製造された車両。伊予鉄道より銚子電鉄へ譲渡され、2010年まで現役で活躍していました。

銚子駅の隣の仲ノ町駅には銚子電鉄の車庫があり、デハ1002が保存されています。デハ1002は旧営団地下鉄から譲り受けた車両で、1994年から2015年まで活躍していました。



デハ1002

旧営団地下鉄の車両で、2011年に営団地下鉄時代の丸の内カラーに変更。2015年に引退、運行を終了し、仲ノ町駅の車庫で保存されています。



デハ801

外川駅の終端部に留置・保存されているデハ801。車両の老朽化で窓の開閉ができないため、2022年9月現在、車内は非公開となっています。



仲ノ町駅の外川側には車庫の入口となる踏切があり、仲ノ町駅で入場券を購入して許可を得れば、車庫を見学することができます。

## Recommended Gourmet ★おすすめグルメ

### おいもの幸せのすべてが手に入るお店

畑づくりからこだわり、甘みを出すために長期低温熟成させたさつまいもをオリジナル焼成機を使って焼きあげる焼き芋はとにかく絶品。

佐原にある直営のカフェで提供される、焼き芋を一本丸々使用した「芋べちー」をはじめ、おもい好きにはたまらない製品を販売するしばやま農園。

独自の製法で熟成させた驚くほど甘い焼き芋(NETAIMO)やベニアズマを使ったカリッとした食感に手が止まらなくなる「芋けんぴ」も大人気。お店のほか、オンラインショップでも販売中です。



芋べちーのは  
ショコラ、黒蜜  
の2種類が不  
動の人気  
各¥500(税込)



焼き芋 小1本 ¥200(税込)  
大1本 ¥300(税込)



芋けんぴ(青のり・塩味・甘味)  
各¥290(税込)

オンラインショップ

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/netaimo/>

### CAFE NETAIMO(カフェ ネットイモ) 上川岸小公園店(しばやま農園直営店)

香取市佐原イ499-1

- 営業時間 / 10:00~18:00
- 定休日 / 月曜日
- URL / <https://netaimo.com/>



### 「ちばで見る電車&飛行機」今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「ちばで見る電車&飛行機」の第10回をご覧ください。



今回ご紹介した、銚子電鉄3000形のカラーの元となったNHKの連続テレビ小説の名前はどれでしょうか?  
次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 濁つくし
- ② あまちゃん
- ③ ちむどんどん

取材協力・撮影協力・写真提供 / 株式会社芝山農園

確かな「きずな」を、未来へ。



ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「ちばで見る電車&飛行機」を配信しています。

LINE  
公式アカウント



正解は→① 濁つくし

2022.10  
(次回発行 / 2022年11月18日)